

ハマビワ

か めい
科名 クスノキ

べつ めい
別名

がく めい
学名 Litsea japonica



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 ほんしゅう やまぐちしまね しこく きゅうしゅう おきなわ
本州(山口・島根)、四国、九州、沖縄、
ちょうせんなんぶ
朝鮮南部

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 どんけい
鈍形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きぶ えんけい ぜんせんけい
葉 の 基部 円形、漸尖形

み しゅるい えきか
実 の 種類 液果

は な がくいろ たんおうしよく
花・萼色 淡黄色

せい
めい
明 説 沿海地に生育し、高さ約7mの常緑の高木で、小枝は太く、葉柄に綿のような毛、葉の裏などに黄褐色の毛が生えます。葉は革質で互生し、長楕円形で長さ7-15cm、幅2-5cmです。葉の表面は無毛、深緑色で光沢があります。葉柄の長さは15-40mmです。実は大きく楕円形で長さ15-18mm、灰紫色に熟し、実の基部は杯のような筒に包まれます。